



鹿骨中だより

江戸川区立鹿骨中学校

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibone-j/>

教育目標

- ・みずから学び、考えて行動する生徒
- ・思いやりのある豊かな心をもった生徒
- ・健康で明るく、勤労と責任を重んじる生徒

言葉の影響

校長 東原 貴行

人間だけが「言葉を使う動物」であるという考え方は、長い間常識のように語られてきました。しかし近年の研究では、クジラやイルカ、鳥類など、多くの生物が音声や動作、化学物質を用いて高度なコミュニケーションを行っていることが明らかになっています。彼らの発する信号の中には、単なる鳴き声ではなく、意味のまとまりを持つ「単語」や「文」に近い構造が存在する可能性も指摘されています。さらに、AI技術の発展により、動物のコミュニケーションを解析し、将来的には“会話”に近い形で意思疎通ができるのではないかという研究も急速に進んでいます。しかし、それでもなお「人間のような言語」を使う動物は確認されていません。人間の言語は、単なる情報伝達の手段を超え、抽象的な概念を扱い、時間や空間を超えた物語を共有し、文化や価値観を継承するための高度なシステムです。言葉は、私たちの思考の枠組みそのものであり、感情の表現であり、社会を形づくる基盤でもあります。

言葉の意味を深く理解することは、自分自身の内面をより精密に捉えることにつながります。曖昧な感情を言語化できるようになると、心の整理が進み、思考の質が高まります。また、豊かな語彙や表現力は、自己表現の幅を広げ、自分の考えや想いをより正確に、より魅力的に伝える力となります。さらに、言葉を深く理解することは、他者理解にも直結します。同じ言葉でも、話し手の背景や状況によって意味が微妙に変わることがあります。言葉の裏にある意図や感情を読み取る力が育つことで、コミュニケーションはより滑らかになり、人間関係は豊かに深まっていきます。

言葉は目に見えないものですが、人の心を動かし、行動を変え、未来を方向づける力を持っています。励ましの一言が誰かの人生を支えることもあれば、無意識の言葉が深い傷を残すこともあります。だからこそ、言葉を丁寧に扱い、その意味を深く理解することは、人がよりよく生きるための大切な基盤になると私は考えます。

6月の主な行事予定

生徒の活躍

日	曜	行事予定
1	月	全校朝礼 1年モアレ検診
2	火	
3	水	
4	木	2年歯科検診
5	金	3年進路説明会・修学旅行保護者会
6	土	
7	日	
8	月	生徒会朝礼 QU
9	火	
10	水	スタディウィーク始 SNS 家庭ルール強化週間
11	木	1年歯科検診
12	金	3年上級学校の先生の話聴く会
13	土	
14	日	
15	月	水泳指導始
16	火	スタディウィーク終
17	水	期末考査(数・美・体)
18	木	期末考査(英・理・技家)
19	金	期末考査(国・社・音) 避難訓練
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	専門委員会
24	水	校内研修会
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	生徒会朝礼
30	火	小学生体験授業

バドミントン部

春季区民大会
男子ダブルス準優勝

女子ダブルス3位

ハンドボール部

墨田区区民大会
男子・女子 優勝

5月8日(金) 生徒総会

この日まで活動方針、学級討議など、短い期間で数多くの準備を進めてきました。生徒会本部からスローガン「活動しやすい学校づくり」が出され、各委員会からも前向きな活動方針・内容が数多く出されました。総会の決議を踏まえ、一人一人がよりよい学校づくりに取り組んでほしいです。



5月17日(日) 鹿骨区民館まつり

本校からボランティア生徒が参加し、てづくり広場のコーナーなどの係を担当しました。暑い一日でしたが、一生懸命活動に取り組んでいました。吹奏楽部がステージで発表を行い、会場を盛り立てていました。



5月23日(土) 第49回運動会

前日は雨でしたが、運動会を無事開催できました。生徒実行委員会を中心に準備を進め、ここまでの練習の成果を発揮し、生き生きと行事に取り組んでいました。毎年恒例の垂れ幕が会場を盛り立てました。たくさんの方にご来校いただきました。ご協力・ご支援いただいた皆様、地域の皆様にお礼申し上げます。

